

ルーツのヒント 日本の苗字

2025年 3月 19日

於：小糸南公民館

新藤正則

1. はじめに～日本の苗字～

日本の苗字の数は10万とも言われていますが、旧漢字と常用漢字、更に読み方を変えて別の苗字とすると30万にもなるとも言われています。その中で人口の一番多い苗字は「佐藤」で約190万人、二番が鈴木で約170万人、三番が高橋で約140万人、四番が田中で約130万人、五番が伊藤で約110万人、六番が渡辺(渡邊)、七番が山本、八番が中村、九番が小林、十番が加藤で、10番までの苗字が占める人口は約10%、100番までの苗字が占める割合は約30%、1000番までの苗字が占める割合は約70%、5000番までの苗字が占める割合は約90%と推定されます。シャチハタが販売している既成印は、約2,100種類で人口の約80%をカバーしているそうです。

2. 苗字の歴史

2.1 古代の個人の名前

古代では苗字に相当するものは無かったようですが、集団生活をしていく中では、仲間同士が識別できる呼称{人の特徴を表す綽名(アダナ)}のようなものがが必要です。

- (a) 動物名：黒虫、猪手、魚成、蟻虫、魚女、入鹿、蟻臣、鯛麻呂 等
- (b) 植物名：絹女、福草、茅草、松子、 等
- (c) 体型名：長首、大目、強頸、長人、鼻垂 等
- (d) 性質名：須奈保、与呂志、愚、布登吉、磨心 等

2.2 時代と個人の名前

個人の名前は、時代・時代を反映して変わって行きます。

- (1) 大正時代：大正の字と「清く、正しく、美しく、幾久しく」の言葉の影響
男子：正一、正二、正三、清 等 女子：正子、文子、幸子、清子、久子 等
- (2) 昭和時代：有名人(岸恵子、吉田茂、荒木大輔、松坂大輔、福原愛)、戦争の影響等
男子：昭二、昭三、博、茂、勝、誠、勇、大輔 等 女子：和子、幸子、恵子、愛 等
- (3) 最近は読めない様な名前(キラキラ名)が多い
男子：英虎(エイト)、騎士(ナイト)、虎琉(タケル)、希星(スバル)、心暖(コノン) 等
女子：愛月(アイル)、海(マリン)、愛聖(アイラ)、一葵(イチロ)、星愛(セイラ) 等
- (4) 平安時代以降の皇室・公家の男子には〇仁、女子には〇子と言う諱(貴人の実名)を付ける
習わしがあります。(カッコ内は妃の旧名を示します。

明治天皇：睦仁(一条美子(ハロ))、大正天皇：嘉仁(九条節子(サダコ))、

昭和天皇：裕仁(久邇宮良子(サカ子))、平成天皇：明仁(正田美智子)、常陸宮：正仁(津軽華子)

令和天皇：浩宮徳仁(ナルト)(小和田雅子)→愛子、秋篠宮：文仁(川島紀子)→真子、佳子、悠仁

天皇の諱には「仁」が付き、妃の名前には「子」が付いています。

(- 三子 12月 全子 1500)
- 子 1 子 1